

東京 C・D 合同地区会開催



平成 29 年 2 月 10 日、TKP 東京駅前カンファレンスセンターにおいて、JISA 東京 C 地区会(代表幹事：亀谷広美／(株)パワーハウス 代表取締役社長)と東京 D 地区会 (代表幹事：近藤一政／新日鉄住金ソリューションズ (株) 取締役専務執行役員) の合同例会が開催され、88 名が参加した。

開会にあたり亀谷代表幹事から「今回は東京 C 地区会と D 地区会の合同開催としたので、是非交流を広めていただきたい。」と、近藤代表幹事から「世の中、デジタルイノベーションのうねりが高まっている。本日の地区会で IT 変革の手応えを感じていただきたい。」と挨拶があった。

議事に入り、経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課 落合健氏から、IoT 推進ラボを中心とした IT 産業に関する施策や IT 人材育成の取組などについて説明があった。

次に JISA 小脇一朗副会長・専務理事から、「JISA Spirit—ソフトウェアで『!(革命)』を」具現化のための活動や働き方改革、下請取引適正化、地域活性化への取組等のほか、昨夏とりまとめられた「未来を展望する」委員会報告についての報告があった。また、平成 29 年度の施策案について説明があった。

休憩を挟んで、株式会社ミライセンス代表取締役・デジタルハリウッド大学大学院教授 香田夏雄氏による講演「バーチャルリアリティ技術の最新動向と、触った感触をデジタルで表現する 3DHaptics 技術の紹介」が行われた。香田氏は、バーチャルリアリティ (VR) の進化を振り返り、VR の革新となる、バーチャルなモノに触った触感・感触をリアルに体感することを可能にした、「圧覚」「触覚」「力覚」の三原触を振動で再現する世界初の技術について解説した。

